

【記録】令和8年度 第1回徳島県立池田支援学校 学校運営協議会

1 日時

令和8年6月15日(月) 9:30~11:30

2 場所

徳島県立池田支援学校

3 日程及び会次第

9:30~ 9:50 受付

9:50~10:30 授業参観

10:40~12:00 学校運営協議会

(1)開会

(2)学校長挨拶

(3)委員自己紹介

(4)役員選出

(5)会長挨拶

(6)協議

①学校経営方針・グランドデザインについて

②学校評価及び学校の取組について

③各委員からの提言等について

④その他

(7)第2回学校運営委協議会について

10/15、10/22、10/29 のいずれかに行う予定。決定次第連絡する。

(8)閉会

4 協議における各委員からの意見・感想まとめ

【委員A】

- 支援学校は、小中学校に比べて地域の方と交流することが少ないと感じている。学校に地域の方に来てもう場所があったり、学校を介して地域の方と繋がることができたりすれば良い。地域と学校が繋がるアイデアを出してもらえると、その活動を推進していきたい。

【委員B】

- 三好地区において障がい者の地域課題は移動手段の確保である。卒業後の生活において、移動手段(車等)を持つこと、携帯電話やパソコン等の管理ができること、お金の管理ができることは非常に大切に強みとなる。相談支援と学校と連携を深めていきたい。

【委員C】

- 授業見学では、学校で計画的に将来を見据えて指導していることがよくわかった。園でもしっかりと生活面を指導していく。連携していきたい。

【委員D】

- 地域の企業と学校が連携して実習等を行い、就労につながればよい。マッチングを行うためにも、学校から正式に地域の商工会等に実習・就労に関する要請をしてほしい。協力したい。

【委員E】

- 授業見学感動した。が、教員不足が課題と伝わった。
- みまカフェが10周年と聞いた。19日には、あさがお会とあさがおの苗を介しての交流があると聞いている。我が家では、みまカフェでもらったマリーゴールドが花を咲かしていて、今朝も水やりのときに学校のことを考えた。これからも共に活動したい。

【委員F】

- 授業見学は学校全体を見る良い機会であった。先生が一人一人を見てくれていて、手作りの教材など頑張ってくれているので、子どもが安心して楽しく通えるところだと感じた。感謝している。児童生徒は広範囲から通い、地域として交流しにくい。地域の方とふれあう機会を持ちにくいと感じる。美馬分校とも交流がないので、今後あれば良いと思う。

【委員G】

- 初めて本校にきた。見学して、先生が子どもに寄り添い指導していると感じた。子どもは美馬分校高等部3年生で、カフェや農作物の配布等で地域のいろいろな方と交流させてもらっている。就労先を自転車で通えるところで探している。限られた中で探している。

【委員H】

- 本校の教育方針、『地域を元気にする人間の育成』は素晴らしい。
- 学校評価の意味は、学校教育をより良くすること。目標を明確にし、しっかりと評価し、次年度の改善策に繋げることが大切。
- 本校は、中・高等部は目標が明確である。小学部も地域を元気にする力を伸ばすためには、今年特にどの力を伸ばすことに重点を置くのかを精選し明確にすると、評価しやすく、改善すべきところがわかりやすくなる。美馬分校は、学校紹介の話を聞き、生活や就労に必要な力を伸ばすのは作業学習だけでなく、教育活動全体を通して育てていくということがわかった。一人一人設定した目標がどれくらい変容したのかを明らかにし、成果と課題が何かを明確にできると、次年度の改善点がより見えるようになる。その他については、別に資料を送付している。